

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう

なまえ _____

小3/3まいめ 「そして」を入れて3行になった1まい

ひづけ _____

つなぎ言葉のあとにつづく文をア～エからえらんで、記号を書きましょう。
「そして」は、前のことにつづけて話を進めたりつけ足したりするときにつかいます。
1つの文は1回だけつかいます。1つはどのつなぎ言葉にもつづきません。

1 まさるさんは川で魚をたくさんつりました。

ア 家に帰っても少しもわらいませんでした。

イ 弟も三びきつりました。

ウ まさるさんはきのうも一びきもつれませんでした。

エ 家に帰るとにこにこわらっていました。

(1) だから、

(2) でも、

(3) そして、

2 あやさんはきのうの夜いつもより早くねました。

ア 弟も同じ時間にねました。

イ きょうは一日中ねむかったです。

ウ 姉もきのうの夜はおそくまでおきていました。

エ きょうは少しもねむくありませんでした。

(1) でも、

(2) そして、

(3) だから、

3 ゆうたさんはサッカーの練習を毎日休みました。

ア ゆうたさんは先月も練習を一日も休みませんでした。

イ しあいでは二点も取りました。

ウ しあいでは一点も取れませんでした。

エ 家ではゲームも毎日していました。

(1) そして、

(2) だから、

(3) でも、



つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

小3/3まいめ 「そして」を入れて3行になった1まい

なまえ _____

ひづけ _____

赤い記号がこたえです。下の行は、つかわない文とそのわけです。
「そして」の行には、そうなる話でも反対の話でもない文が入ります。

1 まさるさんは川で魚をたくさんつりました。

- ア 家に帰っても少しもわらいませんでした。
イ 弟も三びきつりました。
ウ まさるさんはきのうも一ぴきもつれませんでした。
エ 家に帰るとにこにこわらっていました。

(1) だから、

エ

(2) でも、

ア

(3) そして、

イ

つかわない文：ウ（1文目と合わない話。きのうのことで、きょうはたくさんつれている）

2 あやさんはきのうの夜いつもより早くねました。

- ア 弟も同じ時間にねました。
イ きょうは一日中ねむかったです。
ウ 姉もきのうの夜はおそくまでおきていました。
エ きょうは少しもねむくありませんでした。

(1) でも、

イ

(2) そして、

ア

(3) だから、

エ

つかわない文：ウ（1文目と合わない話。姉のことで、あやさんは早くねている）

3 ゆうたさんはサッカーの練習を毎日休みました。

- ア ゆうたさんは先月も練習を一日も休みませんでした。
イ しあいでは二点も取りました。
ウ しあいでは一点も取れませんでした。
エ 家ではゲームも毎日していました。

(1) そして、

エ

(2) だから、

ウ

(3) でも、

イ

つかわない文：ア（1文目と合わない話。先月のことで、いまは毎日休んでいる）